



本村小だより

令和6年11月1日

11月号

東久留米市立本村小学校

校長 永瀬 功二

<http://www.higashikurume-school01.jp/~hon-e/>

Tel 042-474-0404

Fax 042-472-7992

地域での学習を通して

副校長 佐藤 有紀

5年生の校外学習で落合川に行った時のことです。小雨がぱらつくなか学校へと歩き始めたところで、ある子供が教員に「ぼくのリュックからレインコートを出して」と突然言い出しました。どうして自分で出さないのかなと見てみると、出してもらったレインコートを「これ使って」とまた教員に手渡し、去っていきました。よく見ると、教員の傍らには腹痛で苦しそうにしている子供がいました。その子がレインコートを持っていないことに気付いてとっさにとった行動だったようです。友達を思ったさりげない行動に驚かされました。

5年生は総合的な学習の時間に、東久留米川クラブの方に指導していただき、9月には黒目川、10月には落合川で、川の環境や生き物などについて学びました。

- ・湧き水ポイントは69か所もあり、そこから1日に出る湧き水は、プール400個分にもなることを学んだ。
- ・少しの牛乳であんなに水が汚れてしまうことにびっくりです。それに外来種のせいで在来種がいなくなってしまうたり…。どちらにせよ人間のせいで悲しいです。しかし、そのことを伝えてくれる人がいるのはうれしいです。
- ・黒目川はAランクで、とてもきれいでホトケドジョウがいたのに、落合川はAAランクの川なのにいなかった。黒目川はいたるところから湧き水が湧いているから冷たいらしい。黒目川がきれいだといろいろな生物がいて、カワセミなどもよく見られていいなと思いました。

2年生は生活科の学習で町探検に行きました。自分たちの町の気になる場所にグループで分かれて行き、調べたりインタビューをしたりしました。

- ・学校の近くにある島崎農園に行きました。芽キャベツの苗は小さいお部屋で育てているけど、成長すると狭くなります。「大きい苗の場所に手作業で移し替える」と聞いて、びっくりしました。私も芽キャベツを育ててみたいです。
- ・ぼくは、自分が通っていたしおん保育園に行きました。食事では、子供たちのために健康な食べ物を作っていたり、外遊びでは子供たちの安全のためにいろいろな準備をしていたりしました。正直、すごかったです。

「学校の学習はどんな役に立つの?」という問いが子供たちから聞かれることがあります。生活科や総合的な学習の時間は、体験の中で問いを見出し、その問いを解決するためにはどんな力が必要かを考えることで、各教科を学習する意義を考えるきっかけにもなっているようです。

また、友達と協力することの良さや、自分たちの生活が地域の人々や様々な場所と関わっていることなども学び、地域への愛情も深まったように感じます。

地域に支えられ、豊かな体験を通して成長している子供たちです。